

2014 PETRONAS アジアロードレース選手権シリーズ 第4戦 9月5日(金)～7日(日)開催のご案内



株式会社モビリティランドは、鈴鹿サーキット(三重県鈴鹿市)にて2014年9月5日(金)～7日(日)に、「2014 PETRONASアジアロードレース選手権 第4戦」を開催いたします。

本選手権はマレーシア、インドネシア、タイ、カタル、そして日本を舞台に年間全6戦が行われます。選手は開催国を中心にアジア、オセアニア各国から若手、ベテランが多数参戦しており、チャンピオン争いを繰り広げています。

開催クラスは3クラスで、600ccのフルカウルスポーツバイクで行われる最高峰の「スーパースポーツ600cc(SS600)」、アジアならではのアンダーボーン車両で競われる「アンダーボーン130cc(UB130)」、そしてHonda CBR250Rのワンメイクで争われる「アジアドリームカップ(ADC)」で、全クラス決勝レースは2レース制となっています。また、今年は全クラスとも国際レーシングコース フルコースで行われます。

なお、本イベントはゆうえんちモトピア入園料(大人1,700円 子ども800円 幼児600円)でご覧いただけます。



SS600レースシーン(写真は昨年のもので)



UB130レースシーンイメージ
(写真は昨年のアンダーボーン115ccのもので)



ADCレースシーン(写真は昨年のもので)

開催概要

- 大会名称 2014 PETRONAS アジアロードレース選手権シリーズ 第4戦
(英文表記) 2014 PETRONAS ASIA ROAD RACING CHAMPIONSHIP ROUND 4
- 開催日程 2014年9月5日(金)フリー走行
9月6日(土)予選
9月7日(日)決勝(全クラス2レース制)
- 会場 鈴鹿サーキット 国際レーシングコース フルコース(5.821km)
- 主催 一般財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会(MFJ)／株式会社モビリティランド
- 後援 観光庁、三重県、鈴鹿市、鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会、
一般社団法人 鈴鹿市観光協会、鈴鹿商工会議所
- 併催イベント FUN&RUN! 2-Wheels NEO STANDARD特別戦(国際レーシングコース 東コース 2.243km)

株式会社 モビリティランド

東京オフィス 〒104-0028 東京都中央区八重洲 2-6-20
鈴鹿サーキット 〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町 7992

TEL(03)3278-0731 FAX(03)3278-0733 E-mail: media@mobilityland.co.jp
TEL(059)378-1111 FAX(059)378-4568 URL <http://www.suzukacircuit.jp/>

レース紹介・見どころ

アジアロードレースの最高峰

日本人も多数参戦する「スーパースポーツ600cc」



開幕戦ダブルウインを達成したザムリ・ババ



ランキング3位、2011年チャンピオンの藤原克昭

レース専用の600ccフルカウルスポーツバイクで行われるスーパースポーツ600cc (SS600)。Honda、カワサキ、ヤマハの3メーカーが参戦しており、また、過去には11人の日本人チャンピオンが誕生するなど、アジア地域でのジャパンパワーの活躍が見られます。

今シーズンは開幕戦でダブルウインを達成したザムリ・ババ、第2戦レース1優勝のファディル・イマムディン、第2戦優勝のザクワン・サイディらHonda勢に対し、2011年チャンピオンの藤原克昭、H・A・ユディステイラのカワサキ勢が着実に表彰台を獲得し、熾烈なチャンピオン争いを展開しています。

なお昨年の鈴鹿大会では、ワイルドカード(スポット)で参戦した中富伸一(ヤマハ)がダブルウインを達成。ワイルドカード参戦の日本人選手の活躍にも注目が集まります。

アジアロードレースの象徴的カテゴリー

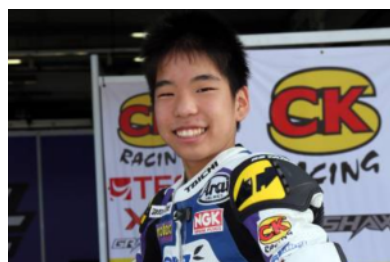
ときには5台以上のマシンが同時にコーナーに飛び込む「アンダーボーン130cc」



昨年(UB115)のレースシーン

アジアで人気のアンダーボーン車両で行われるアンダーボーン130cc(UB130)。日本からはいずれも10代の羽田大河、真崎一輝が参戦。真崎は第2戦のレース2で表彰台を獲得するなどの活躍を見せています。年間ランキングでは、グピタ・クレシュナ(カワサキ)が優勝こそないものの2位表彰台を3度獲得し、昨年チャンピオンのノリズマン・イスマイル(Honda)に18ポイント差をつけてランキングトップに立っています。

昨年の鈴鹿大会では、5台以上が同時にコーナーに飛び込むシーンが見られ、排気量が上がった今年は、さらなるハイスピードでの接近戦が期待されます。



第2戦レース2では3位表彰台に上がった真崎一輝

株式会社 モビリティランド

東京オフィス 〒104-0028 東京都中央区八重洲 2-6-20
鈴鹿サーキット 〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町 7992

TEL(03)3278-0731 FAX(03)3278-0733 E-mail: media@mobilityland.co.jp
TEL(059)378-1111 FAX(059)378-4568 URL <http://www.suzukacircuit.jp/>

世界への登竜門

Honda CBR250Rワンメイクで争われる「アジアドリームカップ」



現在ランキング2位の名越哲平

Honda CBR250R、ダンロップタイヤのワンメイクというイコールコンディションで争われるアジアドリームカップ(ADC)。本クラスは、元MotoGPライダーの中野真矢氏がアドバイザーを務め、また、昨年のADCチャンピオンである尾野弘樹が今年はFIM CEVレブソル・インターナショナル選手権Moto3クラスで活躍しているなど、世界に近い登竜門クラスとして、アジアの若きライダー達が激戦を繰り広げています。

日本人では、名越哲平が開幕戦でレース1、2ともに2位表彰台を獲得し、第2戦のレース1では優勝。現在はランキング2位につけています。名越は6月に鈴鹿サーキットで行われた「アジア2耐」のCBR250Rクラスで優勝を果たしており、今大会での優勝に期待がかかります。



ADCのライダー達

9月6日(土)・7日(日)は「みんなの冒険プール」「アクア・アドベンチャー」を特別営業!



夏限定の「みんなの冒険プール」「アクア・アドベンチャー」。アジアロードレースを開催する9月6日(土)・7日(日)には特別営業を実施します。

「冒険・発見・体験」にチャレンジでき、家族や仲間と「できた!が、いっぱい。」を体感できる「アクア・アドベンチャー」には、昨年登場した日本初の「波の上のアスレチックプールエリア」「アドベンチャーウェーブ」をはじめ、自然の地形「山・川・滝」を活かした水遊びアイテムのある「アドベンチャープール」や小さなお子さまのプールデビューに最適な「アクア・アドベンチャーベビー」など、5種類のプールと2種類のスライダーがあり、家族みんなで冒険プールにチャレンジいただけます。

熱いレースと一緒に、今年最後の「アクア・アドベンチャー」を楽しもう!

アクア・アドベンチャー利用料金

(パスポート付き券など、その他詳細はWebサイトをご覧ください)

入園+プール入場(税込)	2,700円	1,800円	1,300円
--------------	--------	--------	--------

株式会社 モビリティランド

東京オフィス 〒104-0028 東京都中央区八重洲 2-6-20
鈴鹿サーキット 〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町 7992

TEL(03)3278-0731 FAX(03)3278-0733 E-mail: media@mobilityland.co.jp
TEL(059)378-1111 FAX(059)378-4568 URL <http://www.suzukacircuit.jp/>